ふくちやまし

議会だより

2018 8

■発行／福知山市議会　■編集／広報広聴委員会　■平成30年8月発行　No.118

土砂災害による被災家屋とその周辺の災害復旧（夜久野町柿本）

平成30年７月豪雨により、被害にあわれた市民の皆さまに、心からお見舞いを申し上げます。
皆さまの日常に、一日も早く安らぎと笑顔が戻りますよう、早期の復旧にむけて取り組んでまいります。

福知山市議会

議会報告会を開催します

開催日　平成30年**8月28日（火）**

時間および場所
①午後2時から　三和会館（三和地域公民館）ホール（三和町千束）
②午後7時30分から　前田区公会堂1階会議室（前田）
③午後7時30分から　佐賀会館ホール（私市）

※地域の課題について意見交換を行います。
（事前の申込みは不要です。）

市民の皆さまからの請願審査 …… 5
ここが聞きたい！一般質問
（17議員が市政を問う）…… 8～16
政策提言書を提出
「市議会から市長へ」…… 18

5月臨時会・6月定例会

明智光秀が主人公の大河ドラマ・竜王戦対局など福知山城の環境整備や魅力を発信する補正予算を可決

上水道事業などの包括的民間委託業務関連の3議案は継続審査へ

5月臨時会では、大江小谷地区の地すべり緊急復旧費などを可決

6月4日から6月26日までの23日間にわたって6月定例会を開催しました。

この定例会では、平成30年度一般会計補正予算をはじめ、20議案が市長から提案されました。

本会議の採決においては、包括的民間委託業務に関わる農業集落排水施設事業、水道事業および下水道事業の3議案については、効果や市民生活への影響について引き続き審査が必要と認め、採決を見送りました。なお、その他の福知山城の環境整備および市の魅力を戦略的にPRする「シティプロモーション関連事業」などの補正予算、条例の一部改正、消防車両の取得、固定資産評価委員会委員の選任などの17議案は原案どおり可決・同意しました。

また、一般質問は、13日～15日の3日間で行われ、17人の議員が質問を行いました。（質問内容はP8～16を御覧ください。）

請願については、3件が提出され、1件が採択となりました。（内容はP5を御覧ください。）

また、本会議には、延べ29人の傍聴がありました。

6月定例会で決まった主な案件

平成30年度一般会計補正予算（第2号）　（万円未満切捨）

◇竜王戦福知山城対局事業（前夜祭、大盤解説会、市民将棋教室、将棋大会）	1552万円
◇福知山城観光誘客強化事業（福知山城館内の整備、安全対策）	2315万円
◇福知山PR戦略総合推進事業（大河ドラマや福知山城のPR）	1155万円
◇コミュニティ助成事業（岡地区中央センター改築）	1500万円
◇大江地域学校統合整備事業（大江中学校敷地内の校舎増築工事設計委託など）	3000万円
◇地域間交流促進ネットワーク事業（市道上荒河観音寺線、林道大江山線、林道額田大油子線）	4004万円
◇災害に強い森づくり事業ほか6件	6264万円

条　例

◇福知山市立学校設置条例の一部改正（三和小学校関係）

◇福知山市税条例ほか5件の一部改正

その他

◇工事請負契約の締結（「仮称」三和学園校舎増築・改修工事など）

◇建物の取得（福知山公立大学新学部校舎の取得）

◇物品の取得（救助工作車、小型動力ポンプ付積載車）ほか4件

人　事

◇固定資産評価審査委員会委員の選任（1名）

請　願

◇福知山市議会議場に国旗の掲揚を求める請願

5月臨時会

5月11日に臨時会を開催し、大江町小谷地区の市道沿いの地すべり災害について、緊急的な復旧に必要な補正予算など3議案を原案どおり可決しました。

■予算審査委員会

5月臨時会

土木施設災害復旧

問 市道小谷線沿いの地すべり計測状況と梅雨対策は。

答 変位については、3月は月当たり1260ミリであったが、4月は22ミリ、5月は5ミリと現在変位量は少なくなっている。今後、押さえ盛土工法で斜面の安定を図りながら、地下のすべり面の調査を行い、復旧工法を検討する。

問 財源対策の見通しは。

答 今回の調査業務の財源として現年・単独の土木施設災害復旧事業債を予算計上している。一般財源相当額が発生すれば特別交付税の基礎数値として申請することになる。本体工事については、国庫補助を受けられた場合は事業費の3分の2が措置され、残りの3分の1に補助災害復旧事業債を充当する。

（全員賛成で原案可決）

6月定例会

竜王戦福知山城対局

福知山城観光誘客

問 城内などの施設修繕や改修工事の内容は。

答 対局場となる1階和室のふすまや障子などの新調、窓の修理、自動火災報知設備の改修や城内非常灯の更新を行う。さらに『豊磐の井』の安全柵の修繕と井戸内の清掃を行い、万全の安全対策を図るとともに見栄えを良くし満足度を高めたい。

福知山PR戦略総合推進

問 委託料調査費の内容は。

答 明智光秀ゆかりのまちという視点で、光秀が行ったまちづくりを再発見するような調査を行う。さらに歴史的な検証だけでなく、技術的、また地政学的な調査も行い、福知山が先人の努力によって作られたまちであることについてまとめていきたい。そして、市を全国に紹介するとともに福知山市民がまちづくりの歴史を知る機会を増やしていきたい。

コミュニティ助成

問 岡地区中央センターの改築に至った経緯は。

答 岡地区中央センターは、3自治会が共同利用している集会所であるが、建物の老朽化などに伴い、地元自治会と改修あるいは建替えについて長年にわたり協議を行ってきた。その結果『コミュニティの拠点となる同センターを自分たちの施設として地元で維持管理していく』との意向を尊重し、地域活性化へ結びつけていく拠点施設として改築するため、助成事業を活用されることとなった。

防火安全対策資機材整備

問 40ミリホース導入の今後の考え方は。

答 40ミリホースは注水した場合でも、通常の65ミリホースと比べ約半分位の重量であることから、非常に取り回しがよく、高齢者でも取り扱いが容易である。よって、市内における火災予防対策として、住宅火災警報器の設置と併せて、軽量ホースの利便性を訴え推奨していく。

大江地域学校統合整備

問 新校舎の建設予定箇所にある現況3面のテニスコートについての対応は。

答 移設する必要があるが、場所は検討中である。クラブ活動と関連するため、学校と協議して検討を進めたい。

なお、工事期間中は暫定的に2面を確保したい。

問 増改築工事の今後のスケジュールは。

答 今年度内に設計を完了し、来年度6月市議会での工事請負契約の提案を目指して取り組みを進めたい。工期は12カ月程度と見込んでおり、新校舎完成後も、関連工事や備品類の設置などに一定の期間を要する見込みである。

地域間交流促進ネットワーク（市道整備）

問 基本的な考え方は。

答 地方創生道整備推進交付金を活用して整備するもので、市道、農道および林道のうち2以上の施設を総合的に整備する必要がある。

問 上荒河観音寺線を選定した理由は。

答 市道として幹線であることに加え、舗装がかなり傷んでおり、苦情も多数受けている状況であるため、交付金を活用して早期完成を目指したい。（全員賛成で原案可決）

6月定例会　委員会審査報告

議案審査

総務防災委員会

福知山市税条例等の一部改正

問　条例改正による税収の変化は。

答　個人市民税は非課税範囲の拡大で107万円減り、基礎控除の所得上限を設定することで237万円増収（平成33年度課税から）。固定資産税は中小企業の一定の設備投資に3年間は非課税となり、約500万円減収だが、75％が地方交付税で減収補てんされ、約100万円の減収の見込みである。ただし、4年目以後は、復活する固定資産税分の増収が見込める。

建物の取得

問　成美学園から3号館の校舎およびポンプ室を購入する目的は。

答　「知の拠点」構想に基づき、情報系新学部棟として、また、京都工芸繊維大学との文理連携拠点施設として利活用するためであり、購入後は基本的に必要な改修を加えて、「知の拠点」にふさわしい環境を整えていく。

購入予定の3号館校舎

物品の取得

問　消防車両の老朽化の状況は。

答　消防団配備の小型動力ポンプ積載車は96台である。そのうち20年以上経過した車両は43台であり、今年度中に10台を更新する予定であるが、今回5台を更新する。

（全員賛成で可決）

教育厚生委員会

福知山市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正

問　看護小規模多機能型居宅介護とはどういったものか。

答　現在の介護の在宅サービスに医療を含めた看護も担えるようになり、認知症の方に有用なサービスになる。今までは法人のみの参入であったが、有床診療所の開設者であれば個人でも参入できる。

産業建設委員会

車両損壊の賠償

問　事故現場である台風による被災箇所の状況は。

答　被災した箇所は緩いカーブであり、直前の台風21号の豪雨により土砂が山側から流れこんでいた経緯があり、この土砂は撤去を行っていたが、さらに、台風22号により再び崩落して土砂が堆積したところに、車両が乗り上げたものである。また、事故発生時は10月後半の午後5時半頃で薄暗く、見通しが悪い状況であった。再発する可能性は少ないとの認識ではあるが、今後はパトロールなどで注意箇所としていきたい。

問　示談に期間を要した理由は。

答　相手方の弁護士による過去の事例検証作業等により、合意に期間を要した。

報告事項

教育厚生委員会

市民病院診療費・くらしの資金貸付金・民生援護資金貸付金・放課後児童クラブ利用料の債権放棄

問　債権放棄の内容は。

答　診療費は、治療行為などに対する患者負担額で、17人、2037万8710円。くらしの資金貸付金は12万円を上限として、無利子、無担保、保証人なしで貸し付ける事業で、5人、53万7千円。民生援護貸付金は7万円を上限として、無利子、無担保、保証人ありで貸し付ける事業で、1人、7万円。放課後児童クラブは利用料で、1人、千円。訪問徴収や分割納付の相談などさまざまな徴収努力を行ったが、著しい生活困窮や自己破産、居所不明による時効の到来などにより徴収が困難と認めたものである。

市民の皆さまからの請願審査

請願第４号　子どもの貧困対策推進条例制定に関する請願

■請 願 者／合同会社　社会福祉士事務所つゆくさ
　　代表　田中　八州男　氏
■紹介議員／塩見卯太郎議員、荒川　浩司議員
■目　　的／福知山市における貧困の状況にある子ども及び保護者等の実態を可視化し、その実態に応じた施策を優先的に実施し、その評価・検証を継続的に行っていく組織体制を整えていくための立法上の規範を定めるよう求める。
■議決結果／不採択

請願第５号　就学援助制度において「新入学児童生徒学用品費等」を入学前に前倒し支給することに関する請願

■請 願 者／合同会社　社会福祉士事務所つゆくさ
　　代表　田中　八州男　氏
■紹介議員／紀氏百合子議員、荒川　浩司議員
■目　　的／福知山市における準要保護状況にある子ども及び保護者等が、必要な時期に適切な援助が受けられるように、平成30年度の予算に補正をかけることを求める。
■議決結果／不採択

請願第６号　福知山市議会議場に国旗の掲揚を求める請願

■請 願 者／山段　　誠　氏、　大林八十彦　氏、　寺田　　均　氏、　林　秀俊　氏、
　　井上　正和　氏、　松山　義信　氏、　加柴　盛裕　氏
■紹介議員／中嶋　　守議員、　井上　　修議員、　桐村　一彦議員、　木戸　正隆議員、
　　藤田　　守議員、　足立　伸一議員、　荒川　浩司議員、　田渕　裕二議員
■目　　的／法律で定められた「日本国旗」を福知山市の最高意思決定機関である福知山市議会議場に常時掲げることを求める。
■議決結果／採択

6月定例会の議決結果（請願）について

■議員別議案賛否一覧表（賛否が分かれた議案のみ賛否状況を掲載しています）

議案＼会派別議員名（議決結果）		議決結果	日本共産党市会議員団				福知山市議会公明党		福知山未来の会			蒼士会				大志の会			新政会					真風の会		無会派
			紀氏百合子	塩見卯太郎	吉見　純男	金澤　徹	吉見　茂久	足立　伸一	森下　賢司	芦田　眞弘	木戸　正隆	野田　勝康	髙橋　正樹	塩見　聡	田渕　裕二	桐村　一彦	西田　信吾	高宮　辰郎	藤田　守	奥藤　晃	柴田　実	竹本　和也	中嶋　守	井上　修	田中　法男	荒川　浩司
請願第４号	子どもの貧困対策推進条例制定に関する請願	不採択	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○
請願第５号	就学援助制度において「新入学児童生徒学用品等」を入学前に前倒し支給することに関する請願	不採択	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○
請願第６号	福知山市議会議場に国旗の掲揚を求める請願	採択	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○：議案に対して賛成　×：議案に対して反対　－：棄権
※大谷洋介議員（公明党）は議長職のため表決に加わっていません。　所属会派は、６月26日現在

討論（請願について）

6月定例会

請願第４号　子どもの貧困対策推進条例に関する請願

反　対　子どもの貧困対策に総合対策を

※(請願を不採択とすることに反対)　　塩　見　卯太郎

子どもの貧困は深刻な社会問題である。貧困家庭で育つ子どもたちが、衣食住全般にわたる不利な環境から、保育、教育、健康、将来の就労など人生の全ての段階で多くの困難を抱えて貧困に陥り、負の連鎖につながっている。貧困の実態を調査し、庁内の横断的組織をつくり、貧困の解決へ条例制定を求めることは正当な要求である。

請願第５号　就学援助制度において「新入学児童生徒学用品等」を入学前に前倒し支給することに関する請願

反　対　請願採択で前倒し支給を確実に

※(請願を不採択とすることに反対)　　紀　氏　百合子

文部科学省はすでに昨年３月31日に前年度支給できるよう国庫補助を改正し、市町村教育委員会に「必要な援助が適切な時期に実施されるよう」求めている。本市も来年の新学期に間に合うよう支給することの検討を表明しており、請願の採択は「前倒し支給」を議会からも後押しする積極的な意義がある。

反　対　利用者が望まれる前倒し支給を

※(請願を不採択とすることに反対)　　荒　川　浩　司

この新入学児童生徒学用品等の前倒し支給については、利用される方のサービス向上の面から必要と考える。なぜなら、支給の前倒しにはリスクが発生しないし、他市でも急速に前倒し支給は進んでいる。また、市も取り組みを検討されており、議会としてもその動きを後押しするべきである。

賛　成　鋭意検討中の作業を見守る必要がある　　吉　見　茂　久

※(請願を不採択とすることに賛成)

国の補助金交付要綱改正により、全国では入学前支給を可能とする条例などの改正や予算措置を行う自治体が増加している。利用しやすい制度に改善することで保護者などの負担軽減が図れるものだ。現在、本市においても新入学から入学前支給が実施できないか鋭意検討がなされており、現段階では、その作業を見守る必要がある。

請願第６号　福知山市議会議場に国旗の掲揚を求める請願

反　対　「言論の府」に相応しくない　　金　澤　　徹

市議会議場に国旗を掲揚することに反対する。

第一に「日の丸」日章旗がアジア太平洋戦争において、日本軍の侵略戦争の旗印として使用された歴史的事実があること。二つ目に国民世論で賛否が二分される状況から、法律で、掲揚の義務付けが明記されず、「言論の府」「民主主義の府」である議場に日の丸の掲揚は相応しくない。

賛　成　国旗掲揚は国際社会の基本マナー　　田　渕　裕　二

国旗は国を象徴し、自国他国を問わず重要な行事や式典には国旗を掲揚し国歌を歌う。国旗を掲げることは、国際社会における基本的な礼儀である。平成11年8月に「国旗及び国歌法」が施行され教育基本法にも盛り込まれた。福知山市の最高意思決定機関である議場には、国旗・市旗が掲揚されるべきだ。

賛　成　国旗掲揚は自然　速やかに実現を　　西　田　信　吾

日の丸は日本人にとって親しみやすく日常に溶け込んだまさに国旗であり、国旗を敬うことは当然である。市民から選ばれた市民の代表である議員の神聖なる職場であり、本市の重要な行政施策を決定する議場に国旗を掲揚することは自然であり速やかに実現されるべきものと考え賛成とする。

5月臨時会の議決結果について

■全員賛成で可決となった議案

議第1号	平成30年度一般会計補正予算(第1号)	議第3号	専決処分の承認
議第2号	専決処分の承認		

■議員別議案賛否一覧表（賛否が分かれた議案のみ賛否状況を掲載しています）

会派別議員名（議決結果）／議案		議決結果	日本共産党市会議員団				福知山市議会公明党		福知山未来の会			蒼士会				大志の会			新政会				真風の会		無会派
			紀氏百合子	塩見卯太郎	吉見純男	金澤徹	吉見茂久	足立伸一	森下賢司	奥藤晃	木戸正隆	野田勝康	髙橋正樹	塩見聡	田渕裕二	桐村一彦	西田信吾	高宮辰郎	藤田守	柴田実	竹本和也	中嶋守	井上修	田中法男	荒川浩司
市会発議第1号	福知山市議会委員会条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○：議案に対して賛成　×：議案に対して反対　－：棄権
※芦田眞弘副議長（福知山未来の会）は議長職代行のため表決に加わっていません。〔大谷洋介議長（公明党）は、欠席〕
※所属会派は、５月11日現在

5月臨時会

討　論

市会発議第1号　「福知山市議会委員会条例の一部を改正する条例」

反　対　**据え置きは行政全てに何のメリットもない**　　髙　橋　正　樹

本年3月議会で可決された市行政機構（部･課編成）の改編は、そもそも行政側の専管事項である。しかし、議会側は議案審査における所管を改編前の状態に据え置こうとしている。これでは審査は不効率を極め、職員・議員双方に負担を与えるのみで、市民に対し何ら利益をもたらさない。よって議案審査において、改編に合わせた議会の委員会審査とすることを主張し、所管の据え置きに反対する。

6月定例会の議決結果について

■全員賛成で可決となった議案

議第４号	平成30年度一般会計補正予算(第2号)	議第15号	工事請負契約の締結
議第８号	福知山市税条例等の一部改正	議第16号	工事請負契約の変更
議第９号	福知山市都市計画税条例の一部改正	議第17号	建物の取得
議第10号	福知山市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担額等に関する条例の一部改正	議第18号	物品の取得
議第11号	福知山市介護保険条例の一部改正	議第19号	物品の取得
議第12号	福知山市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正	議第20号	損害賠償の額
議第13号	福知山市立学校設置条例の一部改正	議第21号	公立大学法人福知山公立大学定款の変更
議第14号	福知山市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正	議第22号	市有財産の出資
		議第23号	固定資産評価審査委員会委員の選任（田（でん）　聡（さとし）氏）

6月定例会

討　論

議第5号～7号を除く全議案　平成30年度一般会計補正予算（第2号）ほか

賛　成　**厳しい財政や高齢化を見据えた予算**　　塩　見　　聡

岡地区中央センター改築は、地域の努力と工夫で、市の支出ゼロで行われる。また、高齢者が扱いやすい軽量で取り扱い容易な消火器具を旧市街地に配置する事業は、増える空き家と高齢化も見据えられている。最後に明智光秀の大河ドラマ決定と竜王戦対局を福知山城で行い、全国に魅力を強く発信するプロモーション事業にも期待。

ここが聞きたい！　6月定例会

一　般　質　問

各会派から17議員が質問に登壇！

質問議員

1．新政会　中嶋　　守　議員
2．日本共産党福知山市会議員団　塩見卯太郎　議員
3．福知山市議会公明党　吉見　茂久　議員
4．福知山未来の会　森下　賢司　議員
5．蒼士会　髙橋　正樹　議員
6．真風の会　井上　　修　議員
7．大志の会　西田　信吾　議員
8．無会派　荒川　浩司　議員
9．大志の会　桐村　一彦　議員
10．福知山市議会公明党　足立　伸一　議員
11．大志の会　高宮　辰郎　議員
12．日本共産党福知山市会議員団　紀氏百合子　議員
13．蒼士会　田渕　裕二　議員
14．新政会　奥藤　　晃　議員
15．新政会　藤田　　守　議員
16．日本共産党福知山市会議員団　吉見　純男　議員
17．日本共産党福知山市会議員団　金澤　　徹　議員

※所属会派は６月末現在
※この一般質問の掲載内容は、質問内容をもとに各議員が作成しています。

Q 子育て総合相談窓口の効果は

A 効果的な支援の充実につながっている

新政会
中嶋　　守　議員

問　新設された「子育て総合相談窓口」は、ワンストップサービスとなっているか。

答　子ども政策室は乳幼児医療や児童手当、ひとり親家庭支援に関するサービス、保育園、幼稚園も含めた各種手続きのワンストップ化を図り、一般的な子育ての悩みから虐待など各種相談に対応できる体制を整えた。

問　妊娠期を含め０歳から18歳まで早期からの切れ目のない相談支援ができているか。

答　産婦健康診査事業などの強化により、子育てのスタート期からの支援体制が充実した。

問　専門職による多様できめ細やかな寄り添い支援となっているか。

答　４月以降、困難なケースの対応を保健師、助産師、栄養士など従来の職種に加えて、社会福祉士、家計相談員などのうち必要な専門職からなる「子どもすこやかサポートチーム」を結成し問題解決の方策を検討した上で、伴走型支援を行っている。また、新たな専門職を加えて協議を深めることは、支援の質を高めるために有効であると考えている。

（子ども政策監）

子育て総合相談窓口

その他の質問

- 大河ドラマや竜王戦の決定を活かした施策の推進について
- 学校統廃合後の廃校施設の利活用について

Q 大江町在田橋の復旧計画は

A 府、早期復旧に最優先で取り組む

日本共産党福知山市会議員団
塩見　卯太郎 議員

3月22日に落下した大江町在田橋

問 **落下の原因と今後の復旧計画は。**

答 3月20日に段差を発見し通行止めにした。22日増水によって河床が洗掘され、根入れが浅いため橋脚が沈下し、床版が落下した。5月22日落下した橋脚は撤去完了した。市は地元の要望を受け府に要望し、府から早期復旧へ最優先で取り組むと聞いている。（市長）

問 **不通以後、市民の暮らしや通学の現状は。**

答 市バス、通勤者、地域の方は大江美河橋に迂回され、高校生は大江駅、牧駅を利用されている。（市民総務部長）

問 **応急対策として、歩道橋の仮設ができないか。**

答 仮復旧費がかさむため、本復旧に取り組むと府から聞いている。

問 **牧駅利用の通学者の沿道の対策は。**

答 府から、今年度に府道の拡幅と歩道を設置し、冬季の除雪など、安全を確保すると聞いた。（土木建設部長）

問 **大江駅利用は、定期券代が高くなるが。**

答 定期代補てん制度はないようだが、学校関係者と協議し、とりうる措置がないか検討したい。（市民総務部長）

その他の質問

- 防災・減災対策について
- 知事選・府議補選における開票事務について問う
- 市役所の不審火の対応について問う

Q 事業承継税制改正の情報提供を

A 事業者に分かりやすく周知する

福知山市議会公明党
吉見　茂久 議員

地元産業を元気に!無料相談ドッコイセ!biz

問 **事業承継に関しての課題解決に向け、本市の支援は。**

答 現在、福知山市において後継者が事業を引き継ぐ際、新事業や新分野に進出される第二創業に対し、福知山市起業家支援事業補助金制度により支援している。また、平成30年1月にオープンした福知山市産業支援センター「ドッコイセ！b.i.z」において、あらゆる方から相談を受けており、その中には事業承継に関する相談も受けている。

問 **中小企業を守るため今回、改正された事業承継税制の活用を推進したい。改正となって日が浅く、本市においても制度の周知を図るため情報提供を行う必要があるのでは。**

答 本市として、事業承継に関わらず国や府、金融機関などの制度についても可能な限り各種セミナーや広報媒体により情報提供している。事業承継の際の贈与税、相続税の納税を猶予する事業承継税制についても今回、大幅に緩和されているので事業承継を促進して産業振興を図る観点から皆さまに分りやすいよう情報提供していきたい。（産業政策部長）

その他の質問

- 本市の地域福祉に関する取り組みについて
- 住民自治と対話によるまちづくりについて
- 本市の住みよさの向上につながる子育て支援について

一般質問

Q 周辺部地域の振興策をしっかりと

A 伴走型で地域にあった支援を行う

福知山未来の会
森下　賢司 議員

広大な面積の福知山市。周辺部地域でも暮らしに困らない振興策が求められる。

問　周辺部の地域おこしはどうあるべきか。

答　生活機能の維持強化が重要。日常生活を支える「小さな拠点」を中心に、生活の利便性の確保や、地域資源を活用した取り組みで地域活性化につなげる。（市長）

問　コンパクトな都市の推進と、周辺部を過度に不便にしてしまわないことを並行して取り組むには。

答　日用品販売・診療所・ＡＴＭ機能などを確保したコンパクトなまちを目指し、利便性の高い交通ネットワークで生活基盤の維持向上を図りたい。（市長公室理事）

問　買い物にも困っている住民の生活を守るために行政の支援も必要では。

答　買い物環境確保のために三和では有償運送サービス支援、夜久野では民間事業者を誘致した。地域のニーズを把握して地域にあった支援をしたい。（地域振興部長）

問　周辺部の公共交通を維持・確保していくには。

答　地域の実情に応じた多様な交通サービスを組み合わせた交通ネットワークの形成が必要。デマンド型交通システム導入も含め、利便性の高い移動手段を確保したい。（市民総務部長）

その他の質問
- シティプロモーションが導く本市の未来像は
- 新たな潮流がみられる本市観光や交流人口増の方向性は

Q 下六人部保育園の保育環境改善を

A 地元や保護者の意見を十分汲み取りたい

蒼士会
髙橋　正樹 議員

老朽化が進む下六人部保育園

問　市内にある保育園の公立・民営、各々の数は。

答　現在、【公立-８園、民営-19園】の現状である。

問　障害を持つ児童について、近隣の民営保育園では受け入れが難しかったため、遠方の公立に入園しているというケースを多く聞くが、公立・民営に分けた受け入れ状況は。

答　平成29年度末の全市の合計は、【公立-20名、民営-24名】となっている。

問　保育士確保が難しく、障害児受け入れが容易でない現状で、全ての保育園を民営化する方針なのか。

答　全てを民営化にとは考えていない。運営側社会福祉法人の経営が成り立つことを基準としている。

問　市は５年前、下六人部保育園の民営化を進めるための調査費を５００万円計上している。進捗状況は。

答　境界確定が終わらず、まだ完了していない。

問　当園は、老朽化が激しく厳しい保育環境にある。また、園舎は都市計画道路にもかかっている。再整備を民営化と歩調を合わせて実施できるのか。

答　都市計画事業と整合を図り、地元や保護者の意見を、十分汲み取りたいと考えている。（子ども政策監）

その他の質問
- 歳入確保の現状と手法について
- 新高畑橋の開通に伴う地域交通のあり方について

一般質問

Q 相次ぐ不祥事をどう捉えているのか

A 重大な事象である

真風の会
井上　修 議員

問 知事選・府議選28票持ち帰りの問題、庁舎不審火、くりのみ園利用料の誤り、文書破棄問題と不祥事が相次いでいるが、文書破棄問題は民主主義の根幹をゆるがす大きな問題だ。不祥事の重大性、内部調査の重要性をどう考えているのか。

答 4月16日の庁舎1階の火災については、市民の皆さまからお預かりしている市庁舎や公文書の一部を毀損（きそん）してしまったことは重大な事象と受け止めている。現在、再発防止の徹底に努めている。

問 警察に不審火の被害届けは出したのか。

答 提出している。

問 いつ出したのか。

答 5月23日に出した。

問 ことの重大性に思いが至っていないのではないか。市長の現場確認と、市長、副市長を含め、職員の対応に不備はなかったか。

答 市長確認は翌朝である。マニュアルに基づいて行動しており、今回の火災においても直ちに消防に通報、防火担当職員にも連絡をした。被害範囲が小規模であることから市長、副市長の登庁は必要ないと判断した。

（市民総務部長）

不審火消火による消火水で溢れた庁舎1階

その他の質問
- 職員や来庁者等の安全確保は
- 障がい者への差別解消は進んでいるのか
- いじめから大切な命を守るために

Q 防災対策・危機管理は万全か

A 地域版ハザードマップ作成を支援

大志の会
西田　信吾 議員

問 防災に対する危機管理のあり方の考えは。

答 危機から市民を守るため危機を予測し未然の防止や、関係機関との連携で迅速・適切な対応を行い、被害を最小限にすることが重要だ。ハード対策だけでなく市民の意識や行動に重点を置いたソフト対策事業も行う。

（市長）

問 土砂崩れ危険箇所は。

答 府指定の土砂災害警戒区域は2260区域。そのうち1948区域については土砂災害特別警戒区域。対策は防災ラジオやハザードマップの配布がある。地元には十分説明している。

問 市作成の総合防災ハザードマップの活用は。

答 災害リスクのみならず避難も含めた総合防災対策を記載している。適切な避難行動に活用する。

問 市民に対する説明は。

答 広報誌や自治会の要望により説明会を開催する。イベントや出前講座などで普及啓発を行う。

問 自治会独自のハザードマップ作成は。

答 地域版の防災マップ「マイマップ」は昨年度までに68自治会が作成。職員が地域に入り連携して作成を支援している。

（危機管理監）

福知山市総合防災ハザードマップ

その他の質問
- 本市の観光施策について
- 福知山公立大学・知の拠点整備構想について

一般質問

Q 第三者機関の設置が必要

A 対応は検討したい

無会派
荒川　浩司 議員

問 今回の教育委員会の不祥事は、申請人が情報開示を行ったが、不適切な延長となる。その延長の間に4月に入り、学校は資料の保存期間が過ぎたので廃棄。なぜ、約3カ月間学校に開示照会しなかったのか。また廃棄した理由は。

答 同一請求人から大量な開示請求があり、対応に苦慮していた。廃棄は適正だが、結果的に開示請求文書が廃棄されたことは遺憾である。（教育長）

問 調査では、当時の教育委員会担当者は、学校に開示照会をしたことを確認した。そうであれば廃棄はおかしいし、資料の保存は延長が必要では。

答 今年の2月頃に別件の開示に対して、ある程度の開示リストが学校に渡っていることは承知している。そのリストについて、今後に開示請求があるかも知れないと言う話はしたと、担当者から聞いている。（教育部長）

問 市民に対しても、第三者機関の設置が必要では。

答 今後の対応は、検討したい。（教育長・市長）

期限を過ぎて届いた不可解な特例通知書

様式第８号（第９条関係）

公文書開示決定等の期限の特例通知書

福９教学収発第２８８７－２号
平成３０年５月１０日

[redacted]様

福知山市教育委員会
教育長　端野　学

平成３０年２月６日付けの公文書の開示請求に対して、福知山市情報公開条例第１４条の規定を適用することとしましたので通知します。

１　請求に係る公文書の内容	Ｈ２５年４月１日付文書の別紙での１．学校沿革史（２冊　USB メモリー有）６．生徒出席簿　７．備品台帳　９．学校施設台帳
２　当初の開示決定等の期間	平成３０年２月１４日から 平成３０年２月２８日まで
３　１の公文書のうち相当の部分についての開示決定等の期間	平成３０年２月１４日から 平成３０年４月１４日まで
４　残りの公文書について開示決定等をする期限	平成３０年５月１０日
５　福知山市情報公開条例第１４条の規定を適用する理由	開示請求に係る公文書が著しく大量であるため
６　担　当　課　等	福知山市教育委員会　学校教育課　学務係 電話番号（０７７３）２４－７０６２
７　備　　考	「７．備品台帳　９．学校施設台帳」に特例を適用する

その他の質問

- 有料指定ごみ袋を破れにくいものに改善を
- 周囲の環境を破壊する「大金鶏菊」（オオキンケイギク）の危険性に対する対策は
- 本市とシルバー人材センターにおける委託業務のあり方について
- 行政施設における地下非常用発電機の移設について
- 高畑地内に、押しボタン信号機の設置を

Q 財政健全化に向けた取り組みは

A 財政構造健全化指針の確実な実施

大志の会
桐村　一彦 議員

問 財政健全化に向けた取り組みの現状と分析は。

答 経常収支比率が平成25年以降毎年上昇しており憂慮すべき状況である。

今後の子育て、高齢者支援など社会的福祉関連事業を安定的継続的に展開するためにも、第6次行革以上の取り組みが必要である。

財政構造健全化指針を策定し予算編成にあたるとともに財政状況と今後の展望を市民説明会を開催し、財政健全化の必要性と取り組みについて説明している。（市長）

問 財政課題の改善に向けた中長期的な取り組みは。

答 今後の予期しない収入の減少や災害に備えて、財源対策基金を中心に基金残高を極力減少させない取り組みが必要である。

市税の収入、地方交付税の動向、少子高齢化に伴う社会保障経費の増加、投資的経費の推移など、次世代につなぐため、計画的かつ安定的な財政運用を確立することが必要である。

第6次行政改革と財政構造健全化指針を達成できるよう改革を推し進めていく。（財務部長）

■財政構造健全化指針策定の必要性

① 平成28年度決算

■第6次行政改革に掲げた目標（財務関連）の達成度〔計画期間 H28～H32〕

指標	策定時の最新値	H32目標	H28決算	達成度	今後の展望
① 実質公債費比率 （借入金（地方債）の単年度の返済額（公債費）負担の大きさを、財政規模に対する割合で表す指標で、資金繰り の危険度を表します）	10.2%［H26］	10.2%以下	11.1%	△ 未達成	ただし e-ふくちやま残債償還（H28～H30）の影響分（約1.1%）を考慮すれば H32には達成見通し
② 将来負担比率 （借入金（地方債）など現在抱えている負債の大きさを、その地方公共団体の財政規模に対する割合で表したもので将来財政を圧迫する危険度を表します）	105.5%［H26］	105.5%以下	88.6%	○ 達成	今後の起債発行総額を適正にコントロールすれば H32までの悪化は限定的
③ 基金残高 （財政調整基金と減債基金の合計額）	35.0億円 ［H27見込］	40.9億円以上 （H25、H26連年災害前のH24未残高）	37.8億円	△ 未達成	e-ふくちやま残債償還（H28～H30）のための減債基金処分という一過性の要因を含めても毎年度の決算黒字の確立率を考慮すれば前倒しで達成見通し
④ 経常収支比率 （税収など経常的に収入する「経常一般財源」が、人件費や扶助費、公債費のように経常的に支出する固定経費にどの程度使われているかを表す指標）	92.7%［H26］	92.7%以下	96.8%	× 未達成	類似団体平均からもますます乖離 抜本的手立てなくして H32達成不可能
⑤ 継続的な削減額 （一財ベース、H27比）	0［H27］	△8.46億円（H32） H28では△1.35億円	＋2.4億円 （H28）	× 未達成	行革の目指す方向と逆行 増加要因を分析し総額の削減が急務

財政構造健全化指針策定の必要性
（福知山市財政構造健全化指針（H30 ～ H32）より）

その他の質問

- 生活保護と生活困窮者自立支援制度について
- 空き家対策の実情と課題について
- 学校教育における諸課題について

一般質問

Q 施設敷地を無償譲渡する意義と訳は

A 譲渡は限定付き　地域のためになる

福知山市議会公明党
足立　伸一 議員

地縁団体に無償譲渡された土地

問 公共施設マネジメント実施に伴い集会所敷地を地縁団体へ無償譲渡したが、帳簿価格はいくらであったか。

答 平成29年度分は約1億2千万円であった。

問 公会計上での処理はどうなるのか。

答 固定資産台帳から当該土地の簿価を減じ、貸借対照表で同額を減少させ、純資産変動計算書にマイナス表記する。

問 市は条例を改正し、地縁団体管理の施設敷地についての無償譲渡には議決がいらないこととしたが、他市に例はあるのか。

答 福知山市が特別な対応を取っているわけではない。近隣では舞鶴市、丹波市に例がある。

問 無償譲渡は、市名義でも、元来、地元所有であった土地に限っているのでは。この事業で今後、無償譲渡処分される土地の総額はいくらか。

答 数値は現時点で分からない。

問 処分を公益性などの面でどう考えるか。

答 地縁団体は公益性、公共性があり、市の将来の更新費負担の軽減は住民全体にとっても利益である。（財務部長）

その他の質問
- 公会計制度の導入と財政の「見える化」について
- 森林資産の「見える化」と林業経営について
- 再生可能エネルギーの現状と市のスタンスは

Q 住民の悲願　在田橋の早期復旧を

A 早期復旧にむけ強く要望していく

大志の会
高宮　辰郎 議員

早期の復旧が待たれる在田橋落橋現場

問 在田橋の落下の原因と撤去の進捗状況を問う。

答 沈下原因は橋脚部で、河床が洗堀され橋りょうを支えている杭の根入れ不足が発生したことで、沈下したものと考えられる。5月22日に進入路も含めた全ての撤去工事が完了している。

問 3月29日、現在の京都府知事である西脇隆俊氏を在田橋落下の現場近くまで案内し、惨状を見ていただき早期の復旧を要望した。

地元住民にとって、生活に不便で、危険な迂回路を利用する現状を考えると、在田橋が、早期に機能回復することを強く望んでいる。大江地域の住民の総意である早期の復旧を考慮いただきたい。今後の在田橋復旧の方向性について改めて伺う。

答 京都府からは今後の方向性について、河川管理者との調整を進め、お示しできる段階で地元説明会などを開催したいと聞いている。本市としても早期復旧に向け、引き続き京都府に要望していく。（土木建設部長）

その他の質問
- 大江地域小中一貫校の取り組みについて
- 大河ドラマ誘致決定を受けて、本市の観光客誘致対策を問う

一般質問

Q 台風や土砂災害からの早期復旧を

A 早期復旧、安全確保に努力したい

日本共産党福知山市会議員団
紀氏　百合子 議員

早期復旧が待たれる柿本橋（下小田）

問 但東夜久野線平野地区は拡幅整備後に台風で冠水した。原因と対策は。

答 大雨の流量が府道下の横断管の許容量を超えて冠水した。道路工事は完了して横断管の取り換えはできないので、道路側溝との接続など京都府と検討していきたい。

問 国道9号線下小田の柿本橋は9月の台風で流れたままだが、復旧のめどは。

答 現在、見積もりを取りながら工事発注の準備を進めている。秋の稲刈りには間に合わせたい。

問 9号線の川側に歩道がなく、山側の歩道は山がせり出し危険だ。市民の安全を守る対策は。

答 国土交通省で山側に2・5mの歩道整備計画があるが、牧川と接する区間は府と協議中と聞いている。本市も早期改良を要望している。

問 3月に起きた大見長祖地内の土砂崩れの復旧と安全対策は。

答 現在、市道の通行止めで安全対策を講じている。表層面の崩落とみており、崩落面が落ち着いたら土留め工など具体的な対策工を検討したい。（土木建設部長）

その他の質問

- 保育所の入所手続き、及び保護者負担について
- 歯と口の健康で豊かな人生を
- 新たな子午線標識の設置とまちおこしについて

Q 中心市街地に安全な道路整備を

A 地域の意見を聞いて対応する

蒼士会
田渕　裕二 議員

6m幅の計画決定道路「市役所前の惇明通り」

問 福知山市役所、北角から広小路までの「惇明通り」は、昭和43年の都市計画決定から50年間事業着手がされていない。中心市街地の都市計画決定路線の現状はどうか。

答 中心市街地都市計画決定路線の未着手区間は、広小路から市役所角までの（広小路正明寺線）と、福知山城周辺（広小路堀線）の2路線。（市長）

問 都市計画決定線路の惇明通りは、通学や住民の主要な生活路だが歩道も無く、歩行者の安全確保ができない状態が半世紀以上続いている。交通安全や防火対策からも密集地の都市計画決定道路の早期着手を図るべきだ。

答 事業推進には中心市街地で多額の補償など多くの課題の調整に相当な時間を要すると考える。

問 平成28年「広小路正明寺線」見直し後、地元では事業推進に向けた機運が高まっている。この活動への市の対応はどうか。

答 中心市街地都市計画決定道路の整備推進には関係住民の協力は不可欠である。そうした機運の高まりは重要。地域の意見を聞いて対応していきたい。（土木建設部長）

その他の質問

- 福知山城周辺設備の事業推進について
- 太陽光発電と森林環境保全について

Q 市長推進施策で掲げた進捗状況は

A 取り組みは着実に推進している

新政会
奥藤　晃 議員

問 市長任期の折り返しを迎えたが、2年間で特に力点を置いたのは。

答 市民の暮らしの安心安全を最優先とし、将来に向けた戦略構築を図るとともに、安定した財政基盤を確保するべく市政を推進してきた。（市長）

問 2年間の取り組みを振り返って、今後の最重要課題は。

答 施策の推進方針を明確にすることで、中にはロードマップが明確でないものが見受けられた。さらに、将来を見据えた施策・事業などの制度設計や財政を含めた強度な基盤づくりのため、19のあり方検討会の結果を踏まえながら、事業展開が間断なく図られるよう精力的に推進すること。もう一つは市政運営の担い手となる職員の意識改革や資質の向上である。（市長公室長）

問 明日が輝く、「新時代福知山」づくりに向けた市長の意気込みは。

答 本市はこれまで多くの先人・先輩が築かれてきた発展の礎石、豊かな自然など、さまざまな資源があり、その財産を最大限に生かしながら、先頭に立ち「未来に向かって挑戦」していく決意である。（市長）

福知山の財産である福知山公立大学の学生

その他の質問

- 「知の拠点」整備構想の進捗状況
- 今後の文化・スポーツ施策の推進

Q 農業者のやる気の支援を真剣に

A 稼げる農業応援事業を目指す

新政会
藤田　守 議員

問 本市は、農業をどうしたいのか。どのように国・府制度を活用したいのか。

答 本市ならではの農林畜産物を発掘し、生産者の経営力を向上させるとともに農業生産工程管理の認証取得に意欲のある農業者を支援し、稼げる農業を目指すことで地域農業の振興を図りたい。併せて京ブランド産品の特産物生産を拡大し農家所得の向上を図りたい。このため特に、京野菜の生産拡大、集落営農組織・法人の経営拡大、新規就農者などに積極的に支援している。

問 農業就業者が激減し、高齢化が一層進む中で、就農者の所得の低さ、担い手不足への対策は。

答 本市は、農家戸数が3915戸で65歳以上の就農者の方は、全体の85％を占めており府平均の71％と比べると高齢化が著しい。このため日頃から総括推進員による丁寧な就農や経営相談を行い適切な就農や経営支援事業に取り組んでいる。稼げる農業応援事業の取り組み、農地集積による規模拡大、需要の高い京野菜の生産拡大などにより所得の向上を図り後継者不足の対策に努めたい。（産業政策部長）

田植え後の水田風景

その他の質問

- 人を呼び込み市民主体のまちづくりについて
- 医療･介護･福祉の充実について
- 地域経済の活性化について

一般質問

Q 給食費無料化と公会計の考えは

A 無料化は困難、公会計に向け検討

日本共産党福知山市会議員団
吉見　純男 議員

負担軽減が求められる学校給食

問 小中学校給食費の年間負担額はいくらか。

答 小学校は4万462円、中学校は4万629円。

問 給食費を無料にする自治体が増えている。多子世帯などの給食費負担軽減を行う中で、計画的に完全無料化にする取り組みが求められるが。

答 完全無料化は市の負担が大きい。学校給食を将来にわたり安定的に継続するためには、保護者の負担をお願いしたい。

問 福知山市の就学援助も生活保護費の1・5倍から1・3倍に引き下げられ、約100人が対象外となった。給食費負担軽減は急務だが。

答 市の給食数は多い。安定した給食を続けるということを含め、慎重な検討が必要と考える。

問 給食費は市の歳入歳出予算に計上して透明化し、教師の集金負担軽減を図るべきだが。

答 今後、文部科学省で学校給食費の徴収管理業務ガイドラインが作成される。その動向も見ながら、給食費の公会計化にむけて、さらに調査研究を進める。

（教育委員会理事）

その他の質問

- 特定公共賃貸住宅の入居者充足対策は
- 主要地方道「市島和知線」台頭地内の早期改良を
- 学校給食センター建設予定跡地利活用の取り組みは

Q 防衛局と米軍は約束違反では

A 防衛局に申し入れた

日本共産党福知山市会議員団
金澤　　徹 議員

射撃訓練場に来ていたYナンバー車
「週刊京都民報（5月6日付）」

問 4月18日になぜ、米軍関係者の私有車両のYナンバー車が来たのか。事前に把握していたのか。

答 防衛局に確認したところ、米軍経ヶ岬通信所の警備を行う契約業者の責任者が訓練の視察に来たもので、射撃訓練の参加者ではない。また、事前把握の件については、従来から訓練の規模や内容についての事前連絡はない。

問 Yナンバー車が来ていたことに対して、近畿中部防衛局を通じて、米軍に抗議したか。

答 訓練の視察に来たもので、市としては、市民の皆さんに不信を抱かせるような行為は控えていただきたいということを防衛局に申し入れをした。

問 今回の射撃訓練では、米軍属が銃器をバスに持ち込んだことが目撃されているが、回答文書に抵触していないのか。

答 銃器の取り扱いについては、従来から米軍の内部規則により、適切に管理をしていると聴いている。

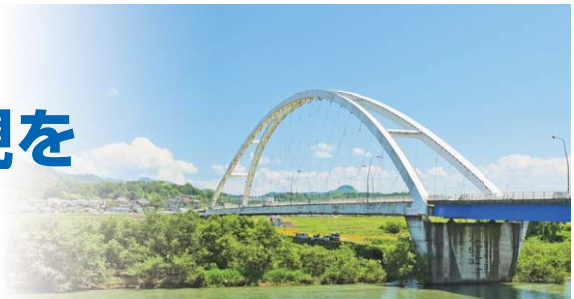
問 銃器の携行問題に対して、確認と抗議を行ったか。

答 防衛局に適切管理を確認した。抗議などは行っていない。（市長公室長）

その他の質問

- 福知山市における再生可能エネルギーの進捗状況について
- 脱原発都市宣言の発信を
- 国道429号線の道路改修について
- かしの木台に投票所の設置を

由良川改修事業の円滑な進行と早期実現を



京都府と意見交換・国交省から治水対策事業の概要を学び現場の進捗状況を視察

～由良川改修促進特別委員会～

活動日　4月24日(火)

京都府中丹西土木事務所で委員会を開催し、由良川に注ぐ府管理河川の改修工事現況と本年度の工事予定概要の説明を受けた。

府中丹西土木事務所で意見交換

相長川、宮川、大谷川、大砂利川、法川、弘法川の各改修工事の進捗状況と、本年度予定されている工事概要の詳細な説明を受けた。用地買収、掘削、護岸工事、築堤工事など、それぞれの改修工事を進めることの報告を受けた。

その後、府の担当職員との意見交換も行い、各工事を着実に進めて欲しい旨の要望をした。

活動日　5月30日(水)

治水対策事業の現況と今後の予定を確認し、現地視察を行うための委員会を開催した。

まず、福知山河川国道事務所より事業概要について詳しく説明を受けた。

本年度は、中流部の戸田・前田・川北付近の連続堤防整備を鋭意進めていくこと、下流部では、下天津に続き筈巻でも宅地嵩上げ事業を進めていくとの話があった。

川北の築堤予定地付近

続いて市内3カ所の現地視察を実施。まず、法川排水機場のポンプ増強工事では、現在、排水量毎秒12トンの増強が進行中で、本年度中に完成予定とのことであった。

次に、川北の築堤現場を視察。

現在進行中の戸田橋～川北橋間は本年度末に完了予定で、引き続き残る区間を事業着手したい旨の説明があった。

また、昨年度末に上部建屋が完成した相長川水門を視察。昨年秋の台風災害時に初めてゲートを閉鎖したとの話を聴き、非常電源装置などの建屋内部設備の説明を受けた。

相長川水門の説明を受ける

法川排水機場ポンプ増強工事現場

7月には、由良川沿川市議会（福知山市、綾部市、舞鶴市）合同で国会や関係省庁への要望活動を実施した。

8月には、委員会で京都府、国土交通省への要望活動を予定しているほか、市民との意見交換の場の開催に向けて現在準備を進めている。

今後も、本委員会では、由良川に関する治水対策事業の推進に向けて積極的に委員会活動を展開していく考えである。

出前懇談会のお知らせ

由良川改修特別委員会による出張委員会を開催します。

日時／平成30年8月20日(月)　午後7時30分～午後9時

場所／ハピネスふくちやま会議室1

水害のない安心安全な住み易い福知山を目指して住民の皆さまと意見交換会を行います。どなたでもご参加いただけます。皆さまのお越しをお待ちしております。

市議会から市長へ　政策提言書を提出
～デマンド型交通システムの普及で地域交流を促進し高齢者の孤立をなくす～

福知山市議会では、議会改革の一環として、市の重要な政策や行政課題に関して、市の執行機関に対する政策提言や条例案の政策立案を行うことを見据えた取り組みを行っています。

こうした活動の成果として、市民地域委員会から「デマンド型交通システム普及促進に関する政策提言」が提案され、6月1日に市長に提言書を提出しました。

デマンド※型交通システムの普及促進

現状と課題

本市における公共交通機関は、JRと京都丹後鉄道の鉄道と路線バスがある。路線バス30路線はいずれも赤字であり、市はその赤字を補填するために毎年度1億円を超える財政負担を行っている。一方で、公共交通空白地域があり、他に交通手段を持たない高齢者などは買い物や通院に苦慮している現状がある。

調査研究

デマンド交通の先進自治体である神奈川県秦野市などの視察や、本市の公共交通空白地有償運送事業のモデル事業として「みわひまわりライド」を運営している三和地域協議会との出張委員会の開催をはじめ、委員会で多くの議論を重ね、調査研究を進めた。

※デマンド型交通とは
利用者の需要に応じて予約制で運行される地域公共交通のこと。いくつかの形態があり、この政策提言では、定時定路型デマンドタクシーを想定している。

神奈川県秦野市を訪ね視察研究を実施

政策提言

①公共交通施策の方向性

・利用者が極めて少ない路線の便数削減や休日運休など、現行の路線バスの効率化を図る。

・公共交通空白地や路線バスのバス停から離れた地域にデマンド型交通システムの導入を促進する。

・既存の路線バスとデマンド型交通のネットワークを構築し、利便性の高い公共交通を確立する。

②施策の内容と対象地域

・市中心部と地域を結ぶ定時定路型デマンドタクシーの導入を推進する。具体的には通院、買い物などに配慮した定時設定、行先は駅、病院、公共施設、商業施設などの定路設定とする。

・旧3町地域においては公共交通空白地有償運送事業を導入する。具体的には、三和地域で行っているモデル事業を検証し、夜久野地域、大江地域での実施可能性を探る。

③実施計画の策定

・団塊の世代が後期高齢者となり、多くの高齢者が免許証返納のため交通手段を失うことが考えられるため、それまでに新たな公共交通システムの構築を目指す。

・財政面を十分に考慮のうえ、スピード感を持って進める。

政策提言への思い

利用者の減少や財政負担の増加などの課題はあるが、公共交通はまちづくりであり、本市の未来づくりである。地域の実情に応じた多様性かつ利便性のある公共交通を構築するため、迅速な対応を期待する。

平成30年度予算審査から　市長へ「意見・提言」

予算審査委員会では、平成30年度予算審査に関連する市政の重要事項について自由討議を3月23日に行いました。

各委員から出された意見などを「意見・提言」としてまとめ、市政運営や予算執行への反映のため、5月18日に市長に提出しました。

「意見・提言」の項目は、次の4項目です。

①市民主体のまちづくりの推進
②指定管理制度における債務負担限度額と指定管理料の算出過程
③子どもの貧困対策
④中心市街地活性化基本計画推進事業ポッポランドのあり方

教育厚生委員会正副委員長に変更がありました

大槻富美子議員が、平成30年４月８日執行の京都府議会議員福知山選挙区補欠選挙の候補者として、平成30年３月30日に届出をされたため、公職選挙法の規定により退職となりました。

このことにより、教育厚生委員会の正副委員長の変更がありました。（平成30年5月11日変更）

委 員 長／中嶋　　守　　副委員長／塩見　　聡
委　　員／桐村　一彦、吉見　茂久、木戸　正隆

会派が変更になりました

福知山市議会　会派一覧表　（届出順）

平成30年７月１日

会派の名称	結成年月日(変更年月日)	代表者の氏名	会　員　氏　名	会員数
日本共産党 福知山市会議員団	平成27年5月 1日 (平成29年4月25日) (平成29年5月10日) (平成30年3月31日)	紀　氏　百合子	塩　見　卯太郎　　金　澤　　徹 吉　見　純　男	４名
福知山市議会公明党	平成27年5月 1日 (平成27年5月12日) (平成29年5月 1日)	吉　見　茂　久	足　立　伸　一　　大　谷　洋　介	３名
福知山未来の会	平成27年5月 4日 (平成29年4月25日) (平成30年3月30日) (平成30年5月23日) (平成30年6月29日)	森　下　賢　司	木　戸　正　隆	２名
蒼　士　会	平成27年5月 7日 (平成29年4月25日)	野　田　勝　康	髙　橋　正　樹　　塩　見　　聡 田　渕　裕　二	４名
大 志 の 会	平成29年4月25日	桐　村　一　彦	高　宮　辰　郎　　西　田　信　吾	３名
新　政　会	平成29年4月25日 (平成30年3月30日) (平成30年5月24日) (平成30年7月 1日)	藤　田　　守	芦　田　眞　弘　　奥　藤　　晃 柴　田　　実　　竹　本　和　也 中　嶋　　守	６名
真 風 の 会	平成30年4月 1日	井　上　　修	田　中　法　男	２名
いずれの会派にも所属しない議員の氏名			荒　川　浩　司	１名

9月 定例会の予定（52日間）

9月3日(月)　本会議
〔提案理由の説明（補正予算、条例等）〕
12日(水)　本会議
〔質疑～委員会付託（補正予算、条例等）、提案理由の説明（決算）、一般質問〕
13日(木)　本会議
〔質疑～委員会付託（決算）、一般質問〕
18日(火)　本会議　〔一般質問〕
19日(水)　各所管別委員会　〔条例・その他〕
20日(木)　予算審査委員会　〔補正予算〕
21日(金)　予算審査委員会
〔補正予算〕、討論・採決
28日(金)　本会議
〔委員長報告～採決（補正予算、条例等）〕

10月1日(月)　決算審査委員会（所属別質疑）
2日(火)　決算審査委員会（所属別質疑）
3日(水)　決算審査委員会（所属別質疑）
4日(木)　決算審査委員会（予備日）
15日(月)　決算審査委員会（総括質疑）
16日(火)　決算審査委員会（自由討議・討論・採決）
23日(火)　本会議　〔委員長報告～採決（決算）〕
24日(水)　（会　期）

※この会議予定は、今後変更になる場合があります。
また、このほかに、全議員協議会などの会議を随時開催します。

お知らせ

「元気やで福知山！」 No.26

議員訪問インタビュー

■今回の訪問議員：金澤 徹・西田 信吾

「いきるを支える」訪問看護ステーションほっぷ

福知山でさまざまな活動を通じてがんばる人を議員が訪問し取材します。

福知山市は4人に1人以上が65歳以上の高齢者でその割合は増加しています。そのため看護や介護を必要とされる方も増えると予想されます。

今回は自宅での看護を行う「訪問看護ステーションほっぷ」荒河新町の事務所にお伺いしました。

訪問看護ステーションほっぷ事務所

いつから？どんなところ？

昨年5月に本市10カ所目の訪問看護ステーションとして開所しました。

代表の中村洋子（なかむらようこ）さんは福知山市民病院を定年退職後の64歳。がん性疼痛看護認定看護師でもあり、「がん患者さんを早期からケアすることで苦痛を軽くして在宅生活ができるのではないかと思いました。定年後に自分も楽しく働くことが大切。これから青春、いきるを支える訪問看護をしたい。」と張り切っておられます。

スタッフは全員が看護師で、常勤3名と非常勤4名。

管理者の山内（やまうち）みかるさんは49歳。「代表の中村さんとは市民病院から25年の付き合い。急性期病院・療養病院に勤務して、家に帰れない患者さんがどうしたら帰れるのか、在宅の現場で確かめたいと思いました。」ときっかけを語られました。

代表の中村洋子さん（左側）

管理者の山内みかるさん

やりがいは？

「患者さんご本人が在宅で過ごすことを希望され、それが全うできたとき。」と代表の中村さん。

「在宅での患者さんは病院の時とはまるで違います。利用者さんの思いを丁寧にお聴きしながら在宅療養に寄り添うことです。」と山内さん。

「住み慣れた自宅で過ごすために訪問看護を知ってほしい。」とお二人は語っておられます。

利用者の皆さまから寄せられた声

「24時間いつでも来てくれるので安心。」

「身体の不自由な母を毎日点滴に病院に連れていかなくても、家でしてもらえて良かった。」

「話を聞いてもらって心の棘がなくなった。」

理念は？

最後に理念の「いきるを支える」の意味を代表に伺いました。

「看護師としての考えを押し付けず、ご本人の思いを確認して、自律性を尊重する。科学的根拠に基づいた緩和ケアを行い、地域と協働することを目指しています。」と力強く語られました。

感想

明るくて元気いっぱいの中村さんと山内さん。

「年齢を書いていいですよ。」と言われました。

高齢化が進む本市で訪問看護の需要は高まる一方です。本市で訪問看護の仕事を頑張っておられる全ての皆さまに感謝します。いつかは私たちもお世話になりますので、よろしくお願いいたします。

編集後記

特別警報が出される記録的な大雨により、土砂災害や浸水などにより被害にあわれた市民の皆さまに心からお見舞いを申し上げますとともに、一日も早い復旧に取り組んでまいります。

さて、大きな被害を受けた福知山市ですが、これからは明るいニュースが続きそうです。

まずは、2020年のNHK大河ドラマが、明智光秀が主役の「麒麟がくる」に決定しました。

また、福知山城にて将棋の「竜王戦」が11月に開催。あの羽生竜王が来福されます。

一方、最近まちなかでは、福知山公立大の学生さんでしょうか、若い方々の姿をよく見かけるようになり、華やかで活気を感じます。

このような追い風に乗って、市民の皆さまと共にオール福知山で市民協働のまちづくりを実践していきたいと思います。

福知山は「いがいと！」さらに住み良いまちになれるように努めてまいりますので、よろしくお願いします。

（広報広聴委員会）

議会だより表紙の写真・議員訪問インタビュー「元気やで福知山！」の取材先を募集！ 詳しくは、市議会事務局（TEL24-7031）まで